

家の中を安全な場所にする

家具は少なく、収納にも工夫をしてみましょう。

地震に備えて家の中の安全対策をする場合、家具を固定するだけでなく、「寝室に高い家具を置かない」「高い場所に物を置かない」など家具の配置や収納方法を見直すだけでも安全性は高まります。

家の中の安全対策の基本ポイント

ポイント1 家具の数を減らす

- 押し入れやクローゼットなどの備え付けの収納場所を活用する。

ポイント2 安全なスペースをつくる

- 寝室やリビングなど長時間過ごす部屋には、高い家具を置かない。

ポイント3 避難経路を確保する

- 玄関などの出入り口につながる通路には、物を置かない。

ポイント4 不安定な場所に家具を置かない

- 絨毯や畳の上など不安定な床面に背の高い家具を置かない。

ポイント5 高い場所に物を置かない。

- 「重い物は下」で重心を下げ、軽い物を上に置く。

